みらい川崎市議会議員団　〒210-8577　川崎市川崎区宮本町1　第二庁舎内
電話　044-200-3355

元気な川崎！いきいき川崎区！

市政だより

2023 新春号

川崎市議会議員　林としお

2023年1月吉日

新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで健やかに新年を迎えられたことと存じます。

そして、日頃より多くの皆様に、心温まるご支援・ご理解を頂いておりますことに、改めて御礼を申し上げます。

昨年は、サッカー・ワールドカップにおいては、サムライ・ブルーが強豪国に勝利して予選リーグを1位通過し、多くの国民・市民が勇気づけられ励まされました。また、日本代表には川崎フロンターレ出身の選手や川崎市にゆかりのある選手が大活躍しました。多くの市民の皆様が大きな感動をいただき、明日への活力となったことと思います。

迎えた2023年は、新型コロナウイルス感染症の第8波の中でスタートすることになります。川崎市は、いよいよ「新本庁舎」が秋ごろ完成する予定となっており、その他にも「扇島地区土地利用方針の策定」や「小児医療費助成制度の拡充に向けた取組」など、今後の川崎市の将来に向けた節目の年となります。

本年も引き続き、市民・働く者の立場に立って、「子供からお年寄りの皆さんまで誰もが安心して安全に暮らせる街づくり」に向けて、市議会の役割・責務の十分な認識のもとに、総合的な視点にたって誠心誠意取り組んでいく所存です。

最後になりますが、本年が皆様にとりまして、ご健康で幸多き年になります事を心よりご祈念申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和4年第5回 市議会定例会を終えて

「令和4年第5回川崎市議会定例会」が11月28日から開催され12月21日に閉会となりました。

みらい川崎市議会議員団では、代表質問を12月8日に行い、市政一般や提出された議案について質問しました。また、今定例会に提出された「令和4年度川崎市一般会計補正予算」や「富士見公園再編整備事業の契約の締結について」など、45件の議案について審議の結果、全議案とも原案通り可決・決定をしました。

市議会報告として、会派代表質問トピックスならびに、林敏夫が12月19日に行いました一般質問の概要などを報告させていただきます。

〈会派代表質問　トピックス〉

新型コロナウイルス感染症対策について

質問　**医療提供体制についてです。市内の感染状況も一日約1500人となっており、再び増加傾向に転じています。第７波と同様、発熱外来等、医療機関が逼迫することも懸念されます。第７波では、小児が発熱外来に受診できず、治療に繋がることができないとの声が多く寄せられましたが、国が求める重症化リスクの高い高齢者、基礎疾患がある人、妊婦、小学生以下の小児が、発熱外来を必要に応じて受診できる体制は整っているのかうかがいます。**

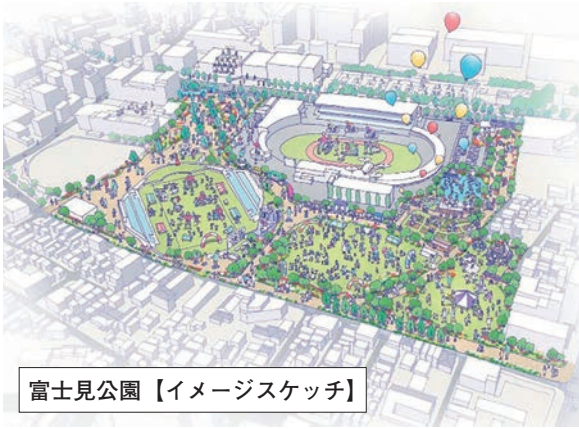
回答　（健康福祉局長）　本市としては、県及び市医師会と連携して小児を含めた発熱診療等医療機関の登録を呼びかけ、12月１日現在で351か所まで増加しており、必要に応じて外来の診療時間延長などを支援することを予定しています。また、この冬、医療機関がひっ迫しないよう、重症化リスクの低い軽症者の方には、状況に応じてセルフテストやオンライン診療等の選択肢を御案内し、一方で重症化リスクのある方は、コールセンター等で発熱診療等医療機関を案内するなど、症状に応じた適切な医療を受けられる体制の強化に取り組んでいるところです。今後も市内医療機関及び医療関係団体と連携を図り、適切に対応していきます。

質問　**新型コロナワクチン接種券発送についてです。既に多くの世代が４回目接種の対象となっていますが、接種券が届いていない事例もあり、接種を希望する方にとっては深刻な問題となっています。現状及び、対応についてうかがいます。**

回答　（健康福祉局長）　接種券の発送については、発行履歴及び発送後に返戻されたものに関して、本市の予防接種台帳管理システムに記録するとともに、発送時には、発行通数と郵便局への持ち込み件数との突合を行っています。接種施設等においてシステムへの登録遅延等がある場合や転入等により接種記録が確認できない方、宛て所不明やその他何らかの理由により、接種券がお手元に届かないケースもあります。引き続き、接種を希望する方が速やかに接種を受けられるよう、接種券の発行申請手続きにいて、市ホームページや市政だより等を通じて周知を行うなど、丁寧な広報に努めてまいります。

全国都市緑化かわさきフェアの取組について

質問　**市民への機運の醸成についてです。**
熊本市では、コロナ禍における市民への機運醸成や認知度の向上は大変困難を極めたとのことです。その中でも、500日前から地域住民や児童生徒等が参加したカウントダウンイベント等、全体の事業進捗を見据え、賑わいを創出したほか、公共施設のライトアップや市電のラッピングなど、公共財産の積極的な活用にも取組んだとの事でした。見解と本市における今後の対応についてうかがいます。



富士見公園【イメージスケッチ】

回答（建設緑政局長）　かわさきフェアにおいては、一過性のイベントとはせず、市民総参加型のフェアとなるよう、取組を展開していくことから、フェア開催前から、みどりへの関心を高め、みどりに親しむ機会を創出するなど、市民への機運醸成や認知度の向上に向けた取組を行うことは大変重要だと認識しております。本市では、市内全体で一体感を生み出すよう、コア会場のみならず、各地の公共空間のさらなる利活用に向け、関係局区や関係団体等との連携により検討を進めてまいります。

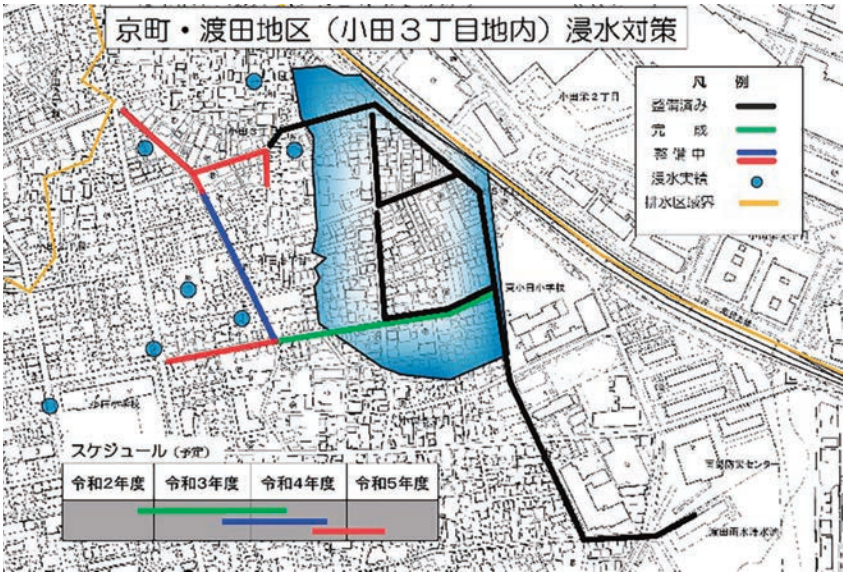
質問　**経済波及効果についてです。**
熊本市では、当初想定していた九州圏全体からの集客を見込むことはできなかった、とのことでしたが、一方で、経済波及効果については、254億７千万円を計上しており、一定の効果があったとのことでした。コロナ禍により、飲食ブース等が取り止めとなる中で、繁華街に近い、街なかエリアを中心に、飲食店等への誘導や商業団体等との連携が功を奏した、とのことです。本市においては、メイン会場だけでなく、周辺の商業団体等との連携など、相乗効果が発揮できるような消費喚起策が必要と考えます。見解と対応についてうかがいます。

回答（建設緑政局長）　経済効果についてですが、緑化フェア開催期間には、多くの方の来場が見込まれることから、特に駅から会場周辺における商店街等と連携した取組を行うことで、本市のみどりに関する魅力発信だけではなく、まちなかの賑わいづくりにもつながるものと考えており、引き続き、関係局区と連携し、各会場周辺の様々な関係者と協議していきます。次に移動手段についてですが、各会場の地域特性を活かし、駅から会場まで地域の魅力を感じながらアクセスできるかが課題であると認識していますので、公共交通機関の利用を想定し、駅から徒歩で楽しめる仕掛けづくりや、来場者の円滑な移動をサポートする輸送計画を検討していきます。

〈一般質問要旨〉

浸水対策に関する重点化地区の取組について

質問　**川崎区における浸水対策重点化地区の取り組みについては、「京町・渡田地区」においては、浸水実績が集中している小田３丁目地内において、先行的に浸水対策を進めており、昨年２月に新たな導水管整備に着手をしていますが、現在の進捗状況についてうかがいます。また、完成時期についてうかがいます。**



回答（上下水道事業管理者）　昨年２月に着手した東小田小学校から小田第２公園までの区間における、内径800ミリメートル、延長約230メートルの導水管布設工事につきましては、令和４年７月に完成したところでございます。

その上流区間におきましても、内径800ミリメートル、延長約180メートルの導水管布設工事が、令和 ５年１月に完成する予定でございます。

残りの区間につきましては、内径400ミリメートルから700ミリメートル、延長約350メートルの導水管や側溝改良などの開削工事を令和４年11月から着手しており、全ての工事を令和５年度の台風シーズン前までに完成させる予定でございます。

質問　**今回の小田３丁目地内については、完成後の具体的な効果について見解をうかがいます。また、これまでの局地的な集中豪雨にも対応が可能となっているのかうかがいます。**

回答（上下水道事業管理者）　本地内におきましては、過去10年間の浸水実績が特に集中しているため、先行的に導水管整備を進めているところでございます。

その効果といたしましては、整備水準を既定計画の５年確率降雨である時間雨量52ミリから、10年確率降雨である時間雨量58ミリにグレードアップして整備することにより、これまで発生した局地的な集中豪雨に対しても、浸水被害の軽減が図られるものと考えております。

連節バス導入に向けた環境整備について

質問　**臨海部の交通機能強化に向けて連節バスを活用したBRTの導入は効果的であると考えており、連節バスについては、川崎鶴見臨港バス㈱が今年度内の運行開始を予定していると伺っていますが、現在の取組状況についてうかがいます。また、車両が長いという構造の特殊性から、停留所などの環境整備の工夫が必要であると考えていますが取組状況についてうかがいます。**

回答（臨海部国際戦略本部長）　はじめに、交通事業者が導入する連節バスについてでございますが、常時運行する車両５台に予備車両の１台を加えた合計６台を予定しており、現在、車両の調達や公道の走行に必要な手続きを、順次、進めていると伺っております。

次に、運行に必要な環境整備についてでございますが、連節バスは約18メートルと、一般的なバスの約1.6倍の長

さであり、一部のバス停留所で改修が必要となりますことから、これまで、臨港警察署前のバス停留所などについて、樹木の伐採や横断防止柵の撤去など、乗降に支障がない形状に改修してきたところでございます。

あわせて、川崎駅東口のバス停留所につきましては、車両の長さを考慮して、連節バスの円滑な発着や効率的な運行が可能な、川崎駅前南交差点付近の、現在、特急東扇島循環のバスが発着している21番乗場の使用を予定していることから、当該乗場を使用している市交通局も含めた関係者と調整を進めているところでございます。

また、連節バス停留場の後方に位置する公共荷さばき場の利用者に向けましても、連節バスの停留所であることを示す路面標示を行う予定でございます。

質問　**連節バス運行開始に向けて、環境整備のほかに安全対策が重要と考えますが、今後どのような取組を予定しているのかうかがいます。また、連節バスの運行にあたっては、運行ルート上の駐車車両があると運行に支障をきたすことが懸念されますが、取組状況についてうかがいます。**

回答（臨海部国際戦略本部長）　連節バスの運行開始にあたりましては、利便性の向上とともに、安全に走行することが大変重要であると考えております。

そうしたことから、交通事業者において、車両調達後、速やかに運転手の習熟訓練を開始し、連節バスの運転技術を十分に習得したうえで、営業運行を開始すると伺っております。

また、運行ルート上の駐車車両への対応につきましては、川崎駅前南交差点から日立造船入口までの、バス専用レーン、優先レーンの適切な運用が図られるよう、バスレーンのルール順守や認知度を高めるための一般ドライバー等への啓発活動など、様々な取組を関係機関と連携し、継続的に進めてまいります。

さらに、大型車の路上駐停車が多い皐橋水江町線沿道においては、Park-PFI制度を活用した交通レスト機能を導入し、ここに大型車を誘導することで、連節バスの走行に支障がないよう、路上駐停車の抑制を図ってまいります。

意見・要望　**連節バスの導入に向けて、交通局やまちづくり局、臨港バスさんと調整しているかと思いますが、東口からのバス乗り場が変わることが想定されます。利用者が混乱することの無いように、事前の周知を確実に行っていただくよう要望します。また、駐車車両対策や地域への情報提供について、十分徹底されるよう要望しました。**

林 としお　事務所のご案内

連絡先：〒210-0835 川崎区追分町6－2　エステート森101
TEL. 044-223-6625 ／ FAX. 044-223-6635

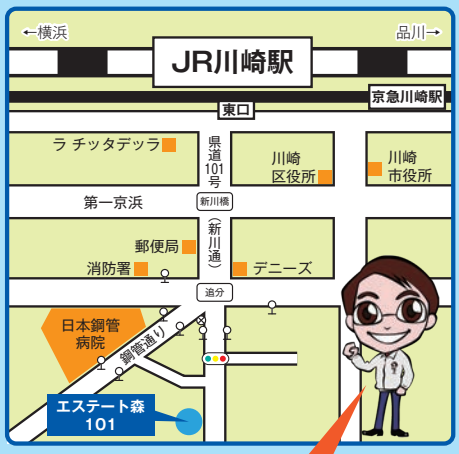
電話連絡は平日の10時～ 17時
留守の際は、留守番電話にご伝言をお願いします。

http://www.hayashitoshio.com

LINE 公式アカウント

プロフィール

○1964年　1月28日生まれ
○1982年　旧日本鋼管（NKK）京浜製鉄所入社
○2014年　JFEスチール東日本製鉄所（京浜地区）総務部
○2015年　川崎市議会議員初当選
○2019年　川崎市議会議員２期目当選
川崎市議会常任委員会
　2022年度　●健康福祉委員会
川崎市青少年問題協議会委員　川崎区民生委員推薦区会委員



お住いの地域で
お困りのことありましたら
遠慮なく連絡をしてください